

進む!まいる!

市政の話題を紹介!

TOPICS 1

5/24

■東西をより安全に結ぶ

新しい白鳥トンネルが開通

主要地方道小倉西舞鶴線の4車線化事業の一環として進めてきた新たなトンネルが完成し、通行可能となりました。小倉西舞鶴線は、東西市街地を最短距離で結び、経済活動や災害に強い緊急輸送路の確保など、多岐にわたる役割を担っています。

歩道を整備し、車道を拡幅した新トンネルは、より安全に通行できるようになりました。



TOPICS 3

6/6

■誘致活動が実を結び、初寄港

クルーズフェリー船「パンスターミラクル」の寄港

舞鶴市が誇る財産「港」を最大限に生かすべく、港湾の振興や利用促進に取り組んでいます。韓国での誘致活動など、昨年度から舞鶴市が精力的に行っている取り組みが実を結び、クルーズフェリー船「パンスターミラクル」が、京都舞鶴港へ初寄港しました。今回の寄港は、韓国からの誘客をさらに加速させる大きな一歩となり、港を中心に、さらなる発展を目指していきます。



市長からのメッセージ

この白鳥トンネルの開通は、私たちが目指す「市民生活の飛躍的な向上」に向けた大きな一歩です。しかし、私たちの取り組みはこれで終わりではありません。むしろ、ここから新たなスタートです。進む!舞鶴!

TOPICS 2

5/30

■健康増進やスポーツ振興を目指す

日本生命保険相互会社京都西支社と包括連携協定締結式

日本生命保険相互会社は「国民生活の安定と向上に寄与する」ことを経営基本理念に、社会課題の解決に向けて取り組んでいます。舞鶴市は、市民の健康増進や青少年の健全育成などの課題に連携して取り組むため、包括連携協定を締結しました。

今後は、検診の受診勧奨や各種スポーツ教室の開催などに連携して取り組みます。



TOPICS 4

6/14・15

■元プロ野球選手との共演

ドリーム・ベースボール

元プロ野球選手によるドリーム・ベースボールを開催。指導者講習では、基礎知識や技術のポイント「投げる」「守る」「打つ」を指導していただきました。また、舞鶴ミライスタジアムでは野球教室を行ったほか、元プロ野球選手と地元選抜チームによるドリームゲームなどを実施しました。プロの技術を間近で体験したことで、子ども達の競技力向上や指導者の資質向上につながりました。



MAIZURU GOODWILL AMBASSADOR PROJECT

まいる親善大使

プロジェクト

!!始動!!



まいる親善大使
歌手・俳優
南野 陽子
さん

まいる親善大使
音楽プロデューサー・ピアニスト
宗本 康兵
さん

舞鶴市にゆかりを持ち、さまざまな分野で活躍する著名人を大使として任命し、舞鶴の魅力を市内外に広くPRしていただくとともに、大使と連携したさまざまな事業を展開する「まいる親善大使プロジェクト」が新たにスタート。現在3人の方に大使に就任いただいています。

《企画政策課》

きっかけは「米作り」

記念すべき最初の「まいる親善大使」として、音楽プロデューサー・ピアニストの宗本康兵さんと、歌手・俳優の南野陽子さんに就任いただきました。

令和4年から、アーティスト仲間の皆さんとともに室牛地区での米作りに参加し、地域との交流を深め、

令和5年には、舞鶴の人々との出会いをきっかけに共同制作された楽曲「飛揚」を舞鶴市に寄贈いただいています。

5月23日、室牛地区で地域の皆さんが見守る中、就任式を実施。宗本さんは「初めて来た時から、自然豊かで食もおいしく、中でも特に人が優しく、インスピ

舞鶴の魅力をスパイクでアピール

6月14日、第2弾として舞鶴市出身で日本バレーボール界をけん引してきた井上愛里沙さんに就任いただきました。平成26年に日本代表に初選出されて以来、主要な国際大会で活躍。2024パリオリンピックにも出場し、日本の得点源としてチームを支えてこられました。井上さんは「舞鶴市はスポーツが盛んなまちです。これまで私が国内外の試合で培ってきた経験を生かし、舞鶴のことを知ってもらえるように取り組みたい」と語られました。



まいる親善大使
元バレーボール女子日本代表
井上 愛里沙
さん

レーションを受けている」と話し、南野さんは「米作りを通して、田植えした後の緑が濃くなっていく姿や稲刈り前の黄色く色づいた穂が広がる温かい雰囲気な

ど、舞鶴は自分の心の支えになっている」と語られました。お二人には、今後は大使として市外の人に舞鶴の魅力を発信していただきます。